

ようじえんだより 2023年度6月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

6月主題『見つける』

主題聖句：主はわたしたちを造られた。 詩編100編3節

- ☆ 0歳児：保育者の祈りやさんびかを歌う姿に触れる。周りのものや人に興味をもち、関わろうとする。自然に触れ親しみ、身体で感じる。(保育者は)それぞれの興味関心をよく見て関わり、一人ひとりと安定した関わりをしていく。
- ☆ 1～2歳児：保育者の祈りやさんびかを喜んで真似する。自分の好きなものと関わる中で興味が広がる。自然に触れあう中で不思議さを感じる。(保育者は)一人ひとりの興味関心を大切にしていっしょに面白がる。
- ☆ 3歳児：礼拝を通して神さまの存在を知る。自分の好きな遊びを楽しみながら、周りの人を感じ目を向ける。様々な環境に自ら関わり、小さな発見を重ねる。(保育者は)子どもたちの気づきに共感し、言葉を添えたり、周りの子どもに伝え共有する。
- ☆ 4～5歳児：友だちと一緒に礼拝する喜びを感じる。繰り返し好きな遊びをすると共に、友だちに遊びに引き込まれながら楽しさを感じ、気づきや心もちが様々な形で表される。様々ないのちの不思議に関心をもち、絵本や保護者、地域の方との交わりなどを通して興味が深まる。(保育者は)子どもの興味・関心を知り、共感し、子どもが自分で試行錯誤する過程を大切にする。

乳幼児期の子育てにおいて大人が気をつけること②～生活リズムを意識する～

先月のコラムで子どもが安定した関係性の中で安心して過ごすことの大切さを記しましたが、乳幼児期の子どもの育ちで大切なことに「朝型の生活リズムの確立」があります。

最近の幼児教育界は、主体的に(意欲的に)仲間と共に遊ぶことが重要視されています。それこそが子どもが最も成長することだとわかってきたからです。先生に指示されたことができるだけでは、AI(人工知能)が台頭し、正解のない(正解が一つとは限らない)多様な価値観の世界を生き抜くことは難しいことが分かってきたのです。

しかし夜型の生活リズムであったり、生活リズムが乱れていると、そもそも遊びに入るというスタートラインに立てないことがあるのです。朝型のリズムで寝起きし、そして朝ご飯をしっかりと食べてからでない子どもが最も成長する遊びの時間に入れないのです。

ただし旅行やお祭りなどの楽しい行事の中で生活リズムが乱れることはどのご家庭でも必ずあることです。乱れてきた時の切り替え時は、朝、です。眠くないのに布団に入っても寝ずに親子ともストレスが溜まってしまいます。むしろ寝るのが遅くなくても朝は起きるべき時間に起きること。そうすれば必然的に生活リズムは戻ってきます。

年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節